

## 目次

1.外部環境について	1
2.四半期業績について	1
3.事業内容について	2
4.財務・KPI等について	4
5.成長戦略について	5

## 1.四半期業績について

Q1 各事業のうち、イニシャル売上とリカーリング売上の内訳は？（2026/2/13 更新）

		FY2025Q1	FY2026Q1
FO事業	イニシャル売上	273	229
	リカーリング売上	299	409
AO事業	イニシャル売上	9	24
	リカーリング売上	52	50
海外事業	イニシャル売上	0	0
	リカーリング売上	6	14
合計		641	729

Q2 2026年9月期第1四半期の売上について、通期計画の進捗率が16%の理由は？  
（2026/2/13 更新）

期初計画では下半期以降のインターゾーン連結子会社化を見込んでいたことが主な要因です。

Q3 2026年9月期の売上計画は前年比で大幅に増加率が上昇しているが、内訳は？  
（2025/11/13 更新）

リカーリング売上積み上げ、新規受注、2026年9月期中のインターゾーン株式100%取得による増加を見込み、前年同期比+59%と増加率の大幅な上昇を計画しています。

Q4 2026年9月期第1四半期は営業利益率が12%であったが、今後の営業利益率見通しは？  
（2026/2/13 更新）

販管費増加額が売上増加額を下回る傾向にあり、営業利益率の上昇が継続する見通しです。

Q5 インターゾーンの2026年9月期業績への寄与度は？（2026/2/13 更新）

インターゾーン社は決算期が8月のため、2026年2月から8月の業績が当社2026年9月期通期業績に連結されます。

**Q6 AO 事業の売上高構成比率が低下傾向だが、社内の評価は？（2025/5/14 更新）**

AO 事業はパートナーとのプロジェクト進行に依存するため、通期計画では AO 事業の予算は前年とほぼ同額としています。また、通期計画に対して第 2 四半期末時点の AO 事業の進捗は計画通りです。

## 2.事業内容について

**Q1 どのような企業規模からの導入が多いか？**

SmartDrive Fleet は、利用車両台数が数十台から数百台の中小企業への導入に競合優位性を有しております。工事不要で、かつ、直感的で分かり易い UI/UX で簡単にサービスの利用を開始し、事故削減・日報作成の自動化・現在位置把握等の具体的な課題解決に活用できる点などが競争優位性を支えています。

**Q2 モビリティデータとは？**

GPS データ（緯度経度/GSP 速度/GPS 精度等）や加速度センサーデータ、運転動画データ、事故実績データなどの「収集データ（ローデータ）」に加え、安全運転スコアリングや訪問効率分析・利用車両台数の最適化分析・EV 車両への切替シュミレーションなどの各種分析データ、AI により算出される車両事故率予測データなどを含む「提供データ」があります。

**Q3 モビリティデータの価値は？どのような用途への展開、並びにどのようなマネタイズを想定しているのか？**

弊社としては、①サービスの開発運用を自ら行い、サービスを直接提供する部分（SmartDrive Fleet 等）、②自動車 OEM やリース会社等のパートナーの裏側に入り、DX 化を支援すると共にパートナーの事業共創を支える部分（ホワイトラベル提供、データ分析基盤提供含むプラットフォーム基盤提供）、③そこから集まった移動にまつわる様々なモビリティデータ（事故履歴、整備履歴、保険など）を活用したアフターマーケット領域や周辺領域における新たなビジネスを創造していく展開を考えております。

**Q4 競合状況は？**

SmartDrive Fleet などのサービス単位・アプリケーション単位では競合も存在しますが、モビリティデータプラットフォームとしての競合は現時点において認識しておりません。

また、エンドユーザーに直接サービス提供するフリートオペレーター事業に加え、自動車 OEM などに向けたアセットオーナー事業の双方を展開する競合は認識しておりません。

**Q5 自動車 OEM が競合となる可能性は？**

エンドユーザーと常時接点を持ち、メーカーや車種を問わずマルチデバイスに対応可能なオープンプラットフォームであることは、ユーザー目線のサービス開発において重要な要素となりますが、自動車 OEM の立場では、原則として自社販売の車両に対するサービス提供に閉じられてしまうため、その実現が難しい状況です。

また、自動車 OEM には基本的にハードウェアの専門人材が多いですが、弊社内はデータの利活用や分析、新規サービス開発を専門とする人材を有するため、「競合」ではなく、ハードウェアの製造やデータ収集等は自動車 OEM が担い、その後のデータ分析や利活用、データ

を基にしたサービス開発は弊社が担う、といった棲み分けによる協業関係が築けております。

**Q6 海外における類似企業は？**

海外においては、Otonomo 社や Samsara 社などが、弊社事業と比較的類似した事業を展開しております。Otonomo はデータのプラットフォーム部分のみ、Samsara は IoT センサーを活用したサービスのみのため、弊社の実現しているデータプラットフォーム及びそのプラットフォームを活用して自社でも実際にサービスを開発する両輪が差別化になっていると考えております。

**Q7 海外における類似企業との競合可能性は？**

参入可能性はゼロではありませんが、上記企業は欧米の企業であり、ヨーロッパやアメリカという大きなマーケットが既にある中で、当該欧米企業が取って言語や商習慣・法令の壁を乗り越えて日本や東南アジアのマーケットへ参入する可能性は比較的低いと考えております。

また日本や東南アジアでの事業展開には、現地でシェアを持つ自動車 OEM、保険会社、リース会社との提携が重要になりますが、日系企業がシェアの多くを占める日本・東南アジアにおいては、欧米の類似企業よりも日本に拠点を置く弊社を選ぶメリットが大きく、これら理由により日本・東南アジアが弊社にとってのホワイトスペースになると考えております。

**Q8 成長ドライバーは何か？**

現時点においては下記が成長ドライバーであると考えております。

- 1 フリートオペレーター事業とアセットオーナー事業の双方を事業展開するユニークなポジション
- 2 アライアンスパートナー企業とのオープンで非排他的な事業展開
- 3 社内にエンジニアやデータサイエンティストを多数擁すること。また、収集したデータ等を活用して事業化・マネタイズする事業開発担当者やセールス人材が充実していること

**Q9 アセットオーナー事業はどのようなサービスか？ (2023/5/15 更新)**

フリートオペレーター事業によって日々収集されるデータを活用して、他社と新たなサービスの立ち上げなどを行っています。具体的には、リース会社・メーカー・保険会社等に向けた事業化支援やデータ利活用支援などです。

### 3.財務・KPI 等について

**Q1 サービスの契約単価・料金体系は？**

(イニシャル売上)

シガーデバイス：3万円～5万円

ドライブレコーダー：5万円～7万円

(リカーリング売上)

月額サービス利用料：1台当たり 2,500円～3,000円

- Q2 **イニシャル売上とリカーリング売上の構成比は？**  
凡そ、イニシャル売上：40%~50%、リカーリング売上：50%~60%となっております。
- Q3 **事業種別の売上の構成比は？**  
凡そ、国内フリートオペレーター事業：70%~80%、国内アセットオーナー事業：20%~30%となっております。
- Q4 **デバイス販売が、リカーリング売上の増加に繋がる理由は？**  
原則として弊社サービスを利用するためには、モビリティデータ取得のための媒体としてのデバイス購入が必要になっているため、デバイスの販売は、サブスクリプションサービスであるリカーリング売上の増加に繋がっております。  
なお弊社としては、モビリティデータの分析やデータを活用したサービス開発・提供こそが弊社事業の主として捉えておりますので、マルチデバイス対応によってデバイス販売を経ずに、サービス提供のみ行うようなケースも今後発生すると想定しております。
- Q5 **従業員の職種別人員構成は？**  
エンジニアやデータサイエンティストなどのプロダクト人材が45%程度、セールス・マーケティング・事業開発人材が50%程度、バックオフィス人材が5%となっております。
- Q6 **事業別・売上種別における売上総利益率は？（2023/5/15 更新）**  
フリートオペレーター事業・アセットオーナー事業間では大きな差はございません。若干アセットオーナー事業は利益率がより良い傾向がございます。また、イニシャル売上の利益率は約50~60%、リカーリング売上の利益率は約70~80%です。
- Q7 **販管費の主な内訳は？（2023/5/15 更新）**  
人件費が最も構成比率が大きく、その他は広告宣伝費・フリーランスエンジニアの外注費などが主になります。
- Q8 **売上に季節性はあるか？（2023/5/15 更新）**  
大きな影響はございませんが、3月末や9月末は顧客が決算期を迎えるため、若干の影響がございます。

## 4.成長戦略について

- Q1 **研究開発投資、広告宣伝や営業人員増加など、今後の事業成長に向けて、どのような領域に注力していく見込みか？**  
短期的には、新規顧客獲得のための広告宣伝や営業人員増加、及びレバレッジを効かせる為に販売代理店の開拓やパートナー企業との共同サービス開発、国内アセットオーナー事業での販売促進など、「既存事業の最大化」に注力いたします。  
中長期的には、収集したモビリティデータの収集促進や研究開発活動、事業シナジーのある企業のM&A実施などを通じて、新たな事業領域・新たなサービスの開発、さらに各種モビリティデータを活用した価値創出・新たなビジネスモデルの開発・構築に注力する予定です。

また、並行して東南アジアを中心としたグローバル展開にも注力いたします。

**Q2 人材について、予定している採用ペースは？**

現時点での社員は約 80 名ですが、全職種にて厳選した採用を行う予定です。なお、パートナー企業や代理店との共同販売活動など、既にある程度はレバレッジの効くビジネスモデルとなっているため、当面の間は、通期で 20% 程度の増員・採用を想定しております。

**Q3 今後の M&A 戦略は？**

弊社が取得しているモビリティデータとの掛け合わせで新しい価値創造ができるようなデータ、もしくは製品を抱える会社、また海外をはじめとする新しい市場で一定のユーザー基盤もしくはより市場にマッチした技術を保有している会社に対しては、将来的に M&A の実施を検討する可能性がございます。

**Q4 代理店経由の販売比率は？ (2026/2/13 更新)**

2025 年 9 月期時点では約 2~3 割であり、直販が主となっています。

**Q5 57 Code Box Sdn.Bhd.社の株式取得の目的は？ (2024/8/13 更新)**

M&A 積極施策の一環として実行し、海外事業でのプロダクト開発要員の確保と 57 Code Box の技術・開発力を活用し、EV をはじめとした再生エネルギー関連の新領域へ拡大を目的としています。

**Q6 中間持株会社の設立はどのように企業価値向上に寄与すると考えるか？ (2025/8/13 更新)**

新規事業や新規サービスの効果検証を自社グループ内で完結できることで、サービスローンチまでの期間短縮が可能となり、事業成長に寄与します。

また出資先企業群が有する商流・顧客層の獲得、並びに PMI や DX 支援等を通じたアセットオーナービジネス事業者群自体の収益性向上と付加価値向上、それに伴う当社グループ全体の企業価値向上が期待できます。

**Q7 直接出資ではなく、中間持株会社を設立する理由は？ (2025/8/13 更新)**

整備工場や新車・中古車販売店などのロールアップ M&A の対象と、これらの会社の DX を進める役割である当社やインターゾーン社とのグループにおける位置付けと役割を明確にする目的です。

**Q8 M&A の対象事業領域は？ (2025/8/13 更新)**

当社やインターゾーン社の既存サービスや知見・ノウハウを最大限活用できるレンタカー運営会社、整備会社、新車中古車ディーラーをメインターゲットとします。将来的には駐車場運営会社や公共交通運営会社等のその他領域も対象としていきます。

**Q9 中間持株会社の経営体制は？ (2025/8/13 更新)**

設立当初は当社代表取締役が代表を務める予定ですが、自動車販売やレンタカー、整備分野に精通した人材の採用を進めています。

また、社外取締役である志賀氏や長島氏、およびインターゾーン代表取締役の鏡山氏は、自動車産業やカーアフターマーケットへの知見が深く、アドバイザーとしての貢献が見込まれます。

- Q10 M&A 資金の調達方法は？ (2025/8/13 更新)  
手元資金の活用や、銀行借入をメインに進める予定です。
- Q11 M&A 後の PMI (企業統合活動) に懸念はないか？ (2025/8/13 更新)  
2024 年に実施したマレーシアのシステム開発会社 57 code box 社の M&A での経験と実績を活かし、かつ中間持株会社内には事業会社の経営経験を有する人材・経営体制を配置するため、懸念はありません。
- Q12 M&A 時に発生するのれん償却による利益への影響は？ (2025/8/13 更新)  
M&A 対象は自動車販売会社や整備会社であるため、過剰な評価額になるリスクは低いと考えています。  
また、M&A 候補企業選定において特にのれん発生額を重要視しており、利益への影響は可能な限り抑える方針です。
- Q13 インターゾーンの株式追加取得を 2026 年 1 月に実施した理由？ (2026/2/13 更新)  
シナジーについて両社間における事業シナジーの創出可能性が一層高まったと判断したことが主な要因となっております。

以 上